



牧村 範康 議員

## 給食費無償化と子ども手当について

～制度改革とさらに楽しい給食の実現に向けて！～

今年度から始まる子ども手当について、岐阜県青年のつどい協議会から出された提言書の中にある、子ども手当を給食費に充当する要望について、池田町としての見解は。

参考URL <http://bit.ly/bdUTCH>

町長

地域の実情に合わせた各自自治体の自由裁量による基金としての支給が望ましいと考えている。しかし、子ども手当は受給者の保護が規定されており、制度上は困難である。

池田町独自に「給食費の無償化」に取り組み考えはないのか。

また、支給額から給食費相当額を差し引き一律無料化に向け国へ意見書などを提出するなどのアクションプランはあるのか。

町長

池田町独自では予算的に難しい。意見書の提出については、今後の状況を見ながら検討していく。

子ども手当を給食費未払いに充当する事は出来ないか。

町長

一部の給食費未払い家庭へは、子ども手当を現金支給に切り替え、支給時に収納して頂く事も検討していきたい。

口座振替が出来なかった場合の児童生徒への対応は教育上適正か。

教育長

集金袋を児童生徒に手渡しするのではなく、心理的影響を考慮し、直接家庭へ訪問して集金するなどの対応を徹底していく。



小学校の給食

## 青少年の健全育成について

～小川とビオトープで環境教育～

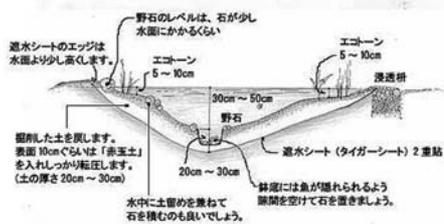
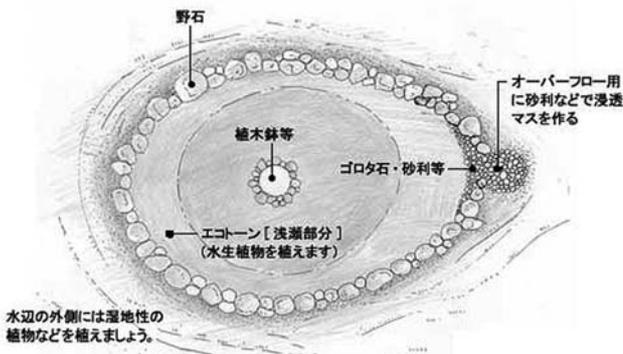
地域の特色を生かし、学校、家庭、地域が一緒になって地域の子供達を育てていくことは、地元への郷土愛を醸成し、地域の活性化に繋がっていくものと考えます。そこで、八幡小学校の新築工事においてビオトープを活かす事は出来なにか。また、どのような設計コンセプトで進めているか。

町長

ハリヨの移動は法的な規制があるため出来ない。ビオトープは校庭の面積の関係もあり、北側の杭瀬川を校庭と一体化する中で地域の皆様と相談しつつ考えていきたい。コンセプトは、検討委員会や子どもたちへのアンケートにより進めていく。

【要望】

教育現場と地域が一体となるような特色ある環境教育を進めてほしい。



簡易なビオトープの作製図